

一般社団法人日本アレルギー学会
2022年度(2023年7月期) 事業報告書
(2022年8月1日から2023年7月31日まで)

I. 会員の異動状況

1) 正会員

2022年7月31日現在	12,248名
2023年7月31日現在	12,528名
増減数	280名(増)

内訳	新入会員	453名
	除退会員	157名
	物故会員	16名

役員(理事・監事)、代議員

2022年7月31日現在	理事26名	監事2名	代議員385名
2023年7月31日現在	理事26名	監事2名	代議員385名
増減数	0名	0名	0名

2) 名誉会員

2022年7月31日現在	33名
2023年7月31日現在	35名
増減数	2名(増)

3) 賛助会員

2022年7月31日現在	23社
2023年7月31日現在	23社
増減数	0社

II. 事業の状況

1. 学術大会、講演会等の開催(定款第5条第1号)

1) 第71回学会学術大会

会期: 2022年10月7日(金)~10月9日(日)

会場: 東京国際フォーラム

開催方法: ハイブリッド開催

現地開催、Live配信 … 10月7日(金)~10月9日(日)

オンデマンド配信 … 11月1日(火)~11月30日(水)

参加登録者数: 6,050名

(会期中来場者数 医師・一般: 1,696名、メディカルパートナー: 85名、前期研修医/学生/患者会: 87名)

特別プログラム: 合計 239 演題 (会長企画講演 1、招請講演 22、特別講演 2、会長講演 1、教育講演 22、シンポジウム 107、JSA-JSI 3、JSA-EAACI 3、JSA-DGAKI 7、JSA-WAO 3、特別企画 7、医療支援スイーツセミナー 5、教育セミナー 37、イブニングシンポジウム 19)

一般演題: 合計 500演題 (日本語: Mini Symposium 305、ポスター 148)

(English Session: Oral 47)

(アレルギー71巻6・7号 8月20日発行: 特別プログラム・抄録、一般演題プログラム、Index、広告、Kcon-naviに掲載)

2) 第9回総合アレルギー講習会

会期: 2023年3月18日(土)~19日(日) … 現地実施+Live配信

2023年4月10日(月)~5月9日(火) … オンデマンド配信

会場：大阪国際会議場

開催方法：ハイブリッド開催

参加者総数：2,839名

(内訳) 現地参加者 652名

Web参加者 2,990名 (Live配信参加者：1,370名、オンデマンド配信参加者：1,620名)

会 員 2,569名

非 会 員 270名

講義数：48 (講義22、教育セミナー 10、イブニングシンポジウム5、実習9)

4) 第5回臨床アレルギー講習会

会期：2022年9月11日 (日)

開催方法：Web開催 (ストリーミング配信)

受講者数：810名 (会員 479名、非会員 331名)

講義数：12 (講義9、実技指導 (ビデオ) 5)

5) 地方会

全国8支部 (北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国・四国、九州・沖縄)

○第3回北海道地方会

会 長：中丸 裕爾 (北海道大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室)

開催日：2022年10月23日 (日)

場 所：札幌市教育文化会館

○第4回東北地方会

会 長：杉浦 久敏 (東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野)

開催日：2023年1月21日 (土)

場 所：東北大学医学部良陵会館

○第8回関東地方会

会 長：今井 孝成 (昭和大学医学部小児科学講座)

開催日：2022年12月10日 (土)

場 所：秋葉原コンベンションホールおよびWEB (ライブ) 配信

○第9回関東地方会

会 長：山口 正雄 (帝京大学ちば総合医療センター第三内科 (呼吸器))

開催日：2023年7月8日 (土)

場 所：秋葉原コンベンションホールおよびWEB (ライブ) 配信

○第4回北陸地方会

会 長：三輪 高喜 (金沢医科大学耳鼻咽喉科学)

開催日：2022年11月23日 (水・祝)

場 所：Web開催

○第4回東海地方会

会 長：金子 英雄 (岐阜県総合医療センター小児療育内科部長)

開催日：2023年3月4日 (土)

場 所：じゅうろくプラザおよびWEB (ライブ) 配信

○第8回近畿地方会

会 長：佐野 博幸 (近畿大学病院アレルギーセンター)

開催日：2022年10月23日 (土)

場 所：大阪国際交流センターおよびWEB (ライブ) 配信

○第9回近畿地方会

会 長：鶴田 大輔 (大阪公立大学大学院医学研究科皮膚病態学)

開催日：2023年6月11日 (日)

場 所：大阪国際交流センターおよびWEB (ライブ) 配信

○第5回中国・四国地方会

会 長：長谷川 俊史 (山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座)

開催日：2023年3月4日 (土)

場 所： KDDI維新ホールおよびWEB（ライブ）配信
○第5回九州・沖縄地方会
会 長： 井上 博雅（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器内科学）
開催日： 2023年2月11日（土）
場 所： Li-Ka1920（ライカイチキューニーマル） およびWEB（ライブ）配信

2. 学会誌、ガイドライン、その他の刊行物の発行（定款 第5条 第2号）

- 1) 和文誌 「アレルギー」 71巻6.7号～10号(6・7号は合併号として発行)、72巻1～5号、計9回発行
発行日 71巻6.7合併号(8/20)、71巻8～10号(9,11,12月各1日)、72巻1～5号(2,3,5,6,7月毎月1日)
発行部数 71巻6・7号(合併号) 冊子 約13,000部、71巻8号～71巻10号および72巻1～5号(通常号) 冊子 約12,200部、また、J-stage、メディカルオンラインにオンラインジャーナル掲載、および電子書籍KaLibに掲載
- 2) 英文誌 「Allergology International」 71巻4号～72巻3号 年4回発行
発行日 2022年10月、2023年1月、4月、7月 オンラインジャーナルと冊子体
発行部数 冊子体1,500部を発刊、希望者のみ配本
エルゼビアのScience Direct及びJ-stageにオンラインジャーナル掲載
- 3) 「アレルギー総合診療のための分子標的治療の手引き」
発行日 (PDF版) 2022年9月26日 (冊子版) 2022年11月24日
- 4) 「アレルギー総合ガイドライン2022」
発行日 2022年10月7日

3. 専門医、指導医、教育研修施設等の認定（定款 第5条 第3号）

- 1) 令和5年度 専門医の認定
申請者 338名
2022年12月8日 資格審査委員会にて書類審査 令和5年度申請者338名および令和3年度・令和4年度の受験困難者21名の計359名を受験有資格者と判定
2023年4月23日 令和5年度専門医認定試験をCBT方式にて実施 315名を新たに専門医として認定
- 2) 2022年度 指導医の認定
申請者41名について、資格審査委員会にて随時審査 41名を新たに指導医として認定
- 3) 2022年度 教育研修施設の認定
教育研修施設への申請34科、準教育研修施設への申請16科について、資格審査委員会にて随時審査 教育研修施設34科、準教育研修施設16科を新たに認定
- 4) 令和5年度 専門医の更新認定
申請者639名 資格判定会議にて639名の更新を認定
- 5) 令和5年度 指導医の更新認定
申請者93名 資格判定会議にて93名の更新を認定
- 6) 令和5年度 教育研修施設の更新認定
教育研修施設の申請113科 資格判定会議にて113科の更新を認定
準教育研修施設の申請27科 資格判定会議にて27科の更新を認定

4. 研修及び教育の実施（定款 第5条 第4号）

- (1) 専門医教育セミナー
 - 1) 第62回 2022年9月20日～10月19日 e-learningによるWeb開催
 - 2) 第63回 2023年5月31日～6月30日 e-learningによるWeb開催
- (2) e-learning (E-learning for Allergy Trainees) 2023年4月3日から公開
- (3) 専門医制度集中研修（第16回相模原臨床アレルギーセミナー：共催）
2022年8月1日～8月31日 e-learningによるWeb開催

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款 第5条 第5号）

- 1) 2023年度海外研究留学助成金
学会誌および学会ホームページにて公募、応募者2名について選考、1名に決定した。

- 2) 2022年度(第19回)日本アレルギー学会学術大会賞
2022年度本学会学術大会(第71回学術大会)で発表された研究業績を対象として学会誌および学会ホームページにおいて公募、学術大会賞選考委員会の審査後、理事会承認を経て応募者13名のうち5名が受賞した。
- 3) 2022年度臨床研究支援プログラム
学会員が行う臨床研究の推進や将来の研究のスタートアッププログラムとしての支援のため2016年から実施している。2022年度は、研究推進委員会の審査の後、理事会承認を経て新規応募32件のうち5件が受賞した。
- 4) 2022年度基礎研究支援プログラム
昨年に引き続き「Novartis Pharma Grants for Basic Research 2022」の支援を受け、「基礎研究支援プログラム」を募集し、研究推進委員会の審査の後、理事会承認を経て11件の応募のうち3件が受賞した。
- 5) JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム 2023
2020年に開催された第69回学術大会は、世界アレルギー機構(WAO)との共催だったが、その際の余剰金をもとに「JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム」を創設した。2023年度2回目の募集で、選考推薦委員会の審査の後、理事会承認を経て通常枠15件の応募のうち4件が受賞し、若手研究者枠29件の応募のうち10件が受賞した。
- 6) サノフィ優秀論文賞
サノフィ株式会社と共同で「サノフィ優秀論文賞」を設立した。2023年度2回目の募集で、総計53件の応募があり、選考推薦委員会とAllergology International 編集委員会の合同審査の後、一般部門は27件、Allergology International 部門は4件が受賞した。

6. 関連学術団体との連絡及び協力(定款 第5条 第6号)

- 1) 専門医制度関連: 日本専門医機構「サブスペシヤルティ領域専門研修プログラム申請説明会」(2022年8月27日)にWeb参加、内科学会(2022年9月14日)にWeb面談、日本医師会(2022年11月9日)に面談、内科学会「内科系サブスペシヤルティ15学会協議会」(2022年11月10日)にWeb参加、日本専門医機構(2022年11月15日)にWeb面談。
- 2) 公益財団法人日本アレルギー協会との連携協力: 第71回学術大会共催。同協会主催「アレルギー週間」(2023年2月1日~28日)を後援。
- 3) 内科系学会社会保険連合: アレルギー関連委員会運営団体として社員総会・運営委員会に参加。内保連例会及び呼吸器関連委員会・遠隔医療関連委員会に委員参加。アレルギー関連委員会を開催し、2024年度(令和4年度)診療報酬改定に向けての医療技術評価や再評価の提案の調整を行い、関係学会と共同で実施した。
- 4) 日本医学会: 評議員会、臨床部会、医学用語委員会等に委員派遣、分科会としての活動に参加。
- 5) 日本医療安全調査機構: 診療行為に関連した死亡の調査について協力関係学会として、全国7ブロックの統括責任者、ブロックごとに推薦担当者窓口および個別調査部会員を配置し、協力体制をとっている。本学会は日本医療安全調査機構の社員として、社員会費(医療安全分担金)を拠出した。

7. 国際的な研究協力と交流の推進(定款 第5条 第7号)

- 1) World Allergy Organization(WAO)との活動
 - ・WAO House of Delegates (2022-23)
日本アレルギー学会から4名の代表を登録(国際交流委員会委員長、副委員長、委員2名)
 - ・WAO Board of Directors
President: 海老澤元宏理事長(2022年12月退任)
 - ・JSA-WAO Symposium 第71回学術大会中に開催(2022年10月7日)
 - ・WAC2022, WAO Hawaii Symposiumにそれぞれ3名の講演者派遣(2022年10月13日)(2023年5月20日)
- 2) Asia Pacific Association of Allergy, Asthma and Clinical Immunology (APAAACI)との活動
President: ルビー・パワンカール会員
- 3) European Academy of Allergy and Clinical Immunology (EAACI)との活動
 - ・JSA-EAACI Symposium 第71回学術大会中に開催(2022年10月7日)
 - ・EAACI Congress 2023におけるJSAセッション 3名講演者派遣(2023年6月11日)
- 4) ドイツアレルギー学会(DGAKI)と活動
 - ・JSA-DGAKI Joint Meeting Session 1, 2. 第71回学術大会中に開催(2022年10月8, 9日)

8. 普及啓発活動（定款 第5条 第8号）

学会Webサイトの一般向けコンテンツ

- ・アレルギーに関する用語やアレルギーの解説、病気についての解説・Q&A等の掲載。
- ・本学会専門医の検索サイト掲載（都道府県、専門、氏名、病院名で検索）。
- ・関連機関からの一般市民向けの公開講座、患者会からの情報等掲載。

9. その他目的を達成するために必要な事業（定款 第5条 第9号）

- ・アレルギー情報センター事業（厚生労働省補助事業）

アレルギーポータルサイトをリニューアルし、一般向け啓発動画コンテンツ（10本）を公開した。また、アレルギー相談員養成研修会を開催し、「わかりやすいアレルギーの手引き」を作成した。

- ・第7回働き方改革推進奨励賞

ワーク・ライフバランスの向上に関する経験や工夫は全ての学会員に有用であると考え、2016年度より「奨励賞」を設け、男女共同参画の理念も含めた働き方改革活動を積極的に推進している学会員、または所属機関を表彰・広報している。2022年度、第7回日本アレルギー学会働き方改革推進奨励賞は、学会員及びその所属団体を対象に、学会誌及び学会ホームページにて公募し厳正なる選考のうえ、理事会において受賞者を決定した。

受賞者：脇口宏之（山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座）

増田佐和子（国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科）

III. 会議等

理事会・社員総会

1. 第6期 第8回常務理事会

日時：2022年10月6日（木）14：00～14：30

場所：パレスホテル東京 2F「橘」

出席：理事長、常務理事6名

2. 第6期 第10回理事会

日時：2022年10月6日（木）15：00～16：40

場所：パレスホテル東京 2F「橘」

出席：理事長、理事23名、監事1名、顧問2名、支部長5名

3. 第14回定時社員総会

日時：2022年10月7日（金）19：10～20：00

場所：東京国際フォーラム

出席：社員269名（委任状又は議決権行使書提出165名含）、監事1名、陪席1名

4. 第7期 第1回理事会

日時：2022年10月7日（金）21：00～22：00

場所：Web開催

出席：理事長、理事24名、監事2名

5. 第7期 第1回常務理事会

日時：2022年11月16日（水）18：30～19：30

場所：Web開催

出席：理事長、常務理事6名、オブザーバー1名

6. 第7期 第2回理事会

日時：2022年12月23日（金）18：30～19：30

場所：Web開催

出席：理事長、理事22名、監事2名

7. 第7期 第2回常務理事会（第1回中・長期計画委員会）

日時：2023年3月17日（金）14：00～14：45

場所：大阪国際会議場 10階「1004+1005」

出席：理事長、常務理事6名、オブザーバー1名（常務理事＝中・長期計画委員会委員）

8. 第7期 第3回理事会

日時：2023年3月17日（金）15：00～17：00

場所：大阪国際会議場 10階「1004+1005」

出席：理事長、理事22名、監事1名

9. 第7期 第4回理事会

日時：2023年7月5日（水）18:30～20:30

場所：Web開催

出席：理事長、理事25名、監事2名

各種委員会

- 和文誌「アレルギー」編集委員会（2022年11月2日、6月12日 メール審議 2022年8月9日、2023年3月6日、6月6日、6月23日）

学術情報誌として内容の充実を図り、読者を意識した誌面作りを目指している。（学術大会特別演題演者からの「綜説」、「専門医のためのアレルギー学講座」は総合アレルギー講習会のテーマを基本に2号ずつシリーズを構成、「ガイドラインのワンポイント解説」は常に新しいガイドライン情報を提供する（年8編）、「アレルギー用語解説シリーズ」（専門医を目指す会員が知っておくべきレベルの用語解説を基本とし毎号3編）掲載、「私のアレルギー史」は名誉会員に寄稿を依頼（年1編程度）。

学会Webサイトでは印刷誌発刊と合わせてJ-STAGEを利用したオンラインジャーナルを発行し、電子書籍KaLibにも掲載。メディカルオンラインにて順次、全文取載。

2016年10月よりオンライン電子投稿査読システム（ScholarOne）運用を開始している。

また、アレルギー編集事務局会議（2022年4月25日）を開催（アレルギー編集委員会は上部委員会として審議事項等の承認等を行い、事務局会議は編集委員会よりも小回りが利き、柔軟な議論をする下部組織として設置）。今後のアレルギー誌の発行形態について検討を行い、2025年から冊子形態の廃止、企画内容の見直し等の方針の検討を進めている。

- 英文誌「Allergology International」編集委員会（2022年12月2日、2023年6月1日）

Allergology International は、中島裕史編集委員長の下、順調に刊行されている。オンラインジャーナルはエルゼビアのScience Directより発行。冊子は、希望する会員のみ配布（発行1500部）している。2022年インパクト・ファクター（IF）は6.8、投稿総数は315件。2023年より2025年までエルゼビアとの出版契約を更新した。

- 広報委員会・Web編集委員会・啓発活動委員会（2023年5月22日）

第71回学術大会動画配信を実施。現在、一般向けWebサイトのリニューアルに向けて検討を進めている。

広報委員会・Web編集委員会・啓発活動委員会 代表者会議（2023年6月27日、7月25日）

広報委員会委員長・副委員長打ち合わせ（2023年1月17日、2月22日、3月29日、5月17日、7月24日）

- 総務委員会（2022年9月、2023年6月）

2022年度（2022年7月期）事業報告書案、2023年度事業計画書案の検討。

- 財務委員会（2022年9月、2023年6月）

2022年度（2022年7月期）決算書作成、2023年度予算案の検討。

- 中・長期計画委員会（旧長期計画委員会）

JSAの現在の課題、優先的に取り組むべき中・長期的課題について検討。

- 選考推薦委員会

* JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム2023の募集、受賞者の選考、採択通知（2023年3月16日）を行った。

* Allergology International編集委員会とともに、2023年度サノフィ優秀論文賞の募集、受賞者の選考（審査会議2023年3月28日）、採択通知（2023年4月17日）を行った。

* 研究助成、外部賞の公募情報について、学会Webサイトで会員に告知した。

- 利益相反委員会

利益相反（COI）自己申告書提出依頼（役員、委員会委員長、特定委員会委員など）。

- 専門医制度関係

* 試験問題作成委員会（2022年9月2日、10月24日、2023年6月6日）

令和4年度試験結果の確認をした。

令和5年度試験問題の作成方針・試験問題の確認作業・確認分担の検討および試験結果を確認した。

* 教育研修委員会（2022年10月8日）（メール審議：2023年4月18日）

第63回および第64回専門医認定教育セミナーのプログラム案、講師候補を検討した。

2024年度以降の専門医認定教育セミナーの開催方法について検討した。

- *e-learning作製WG (2022年8月29日、10月11日、2023年1月31日) (メール審議: 2022年10月18日、10月27日、11月2日、12月27日、2023年5月22日、6月6日)
e-learningの作製方針および講演テーマと講師について検討した。
システムの仕様及び名称・デザインについて検討した。
受講料および業績単位について検討した。
- *資格審査委員会 (2022年12月8日、2023年3月14日) (メール審議: 2023年1月16日)
令和5年度認定専門医申請者の書類選考を行い、申請者338名全員の受験資格を認めた。
今後の審査分担、審査対象外の論文単位の承認、専門医認定・更新の業績となる論文発表で有効な雑誌基準、指導医認定の際必要な論文発表業績の審査基準について検討した。
- *令和5年度認定専門医試験は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2023年4月23日(日)にCBT方式にて実施した。
- *専門医制度・資格審査・試験問題作成・教育研修合同委員会 (2023年2月15日)
専門医、指導医、教育研修施設を認定、更新認定した。(専門医の認定はなし)
令和6年度専門医試験の日程および試験実施方法を検討した。
e-learning (EAT) 受講料および業績単位について検討した。
- *専門医制度委員会 (メール審議: 2022年10月26日)
新型コロナウイルスの感染拡大に伴う専門医制度関連の特例措置を検討した。
- *機構認定専門医特別委員会 (2022年12月1日)
機構認定専門医制度の状況について検討した。
- *アレルギー領域専門医検討委員会 (メール審議: 2023年3月13日)
アレルギー領域専門医検討委員会規約の一部改訂について
- *関連団体
日本内科学会 (2022年9月14日、11月10日)
「内科サブスペシャリティ領域審査協議会」他
日本専門医機構 (2022年8月27日、11月15日)
「サブスペシャリティ領域に関する会議・意見交換会」他
日本医師会 (2022年11月9日)
機構認定専門医制度に関する面談
- 国際交流委員会
 - * WAO, Asia Pacific Assn of Allergy, Asthma and Clinical Immunology (APAAACI), European Academy of Allergy and Clinical Immunology (EAACI)、DGAKI (ドイツアレルギー学会)などとの交流事業。
 - * 第71回学術大会におけるEnglish Sessionの企画、開催。
 - * Kenji Mano Travel Grantの募集、運営。
 - * 2023年度海外研究留学助成金の募集、選考、採択通知 (2023年7月6日) を行った。
- 研究推進委員会 (2023年2月7日 Web会議、メール審議)
 - *2022年度基礎研究支援プログラムを公募し受賞者の選考を行い、2023年3月20日付で採択通知を発行した。
 - *2022年度臨床研究支援プログラムを公募し受賞者の選考を行い、2023年7月5日付で採択通知を発行した。
- アレルギー・免疫療法委員会
アレルギーエキス標準品の提供依頼が1件あり、提供を可として、納品した (2022年8月31日)。
- Anaphylaxis 対策委員会 (2022年12月9日、2023年1月23日)
 - *「アナフィラキシーガイドライン2022」を2022年8月31日に発行した。2014年発行の初版を改訂。
 - *「アナフィラキシー診療実態調査」のアンケートを会員あて依頼 (2022年12月27日~2023年1月31日)。
 - *「アナフィラキシーガイドライン2022」の修正点を会員あて通知、2刷りを発行した (2023年3月1日)。
- 学術大会委員会 (2022年12月27日、2023年3月1日、5月29日 Web会議)
会長と共に学術大会を総括的に推進し、第72回大会に向けて一般演題に関する検討・確認、各プログラム案等の内容確認の協力、第74回学術大会の運営会社選定等を行った。
- 総合アレルギー講習会委員会
 - *総合アレルギー講習会委員会 (2023年3月17日、2023年7月4日)
第10回総合アレルギー講習会の開催概要、ハイブリッド開催様式、講義・実習プログラム等の内容の検討、座長・講師、実習責任者の推薦者確認、総合アレルギー講習会規程、細則改訂の確認
 - *第9回総合アレルギー講習会実行委員会 (2023年3月8日)

- 第9回総合アレルギー講習会の実施方法、実施マニュアル、当日の運営の確認。
- 学術大会賞選考委員会（2023年3月6日、6月8日 メール審議）
 - * 第19回学術大会賞応募者の募集要項確認、選考を行い、受賞候補者5名を選出。
 - * 第20回学術大会賞の募集期間、選考期間の確認。
 - アレルギー疾患ガイドライン委員会
「アレルギー総合ガイドライン2022」を発行した。編集・制作・発売は、(株)協和企画。(2022年10月7日)
 - 喘息予防・管理ガイドライン(JGL)2024作成WG(2023年2月16日、6月29日)
喘息予防・管理ガイドライン(JGL)2024の作成に向けて、執筆者決定、編集作業をはじめた。
 - 診療報酬・医療問題検討委員会(2022年10月18日、2023年1月25日)
2024年度(令和6年度)診療報酬改定に向け内保連関連委員会と調整を行い、内保連に提案書を提出し、2023年7月に厚生労働省とヒアリングを行った。
 - 働き方改革推進委員会
(2023年1月23日 メール審議:2022年11月7日、12月9日、2023年2月10日)
第7回働き方改革推進奨励賞受賞者を選考。第72回学術大会時開催の働き方改革推進委員会企画セミナーのプログラムの作成、演者の選定、展示ブースの企画、働き方改革推進奨励賞規約について検討。
 - * 関連団体 日本医学会連合 2022年度 加盟学会連絡協議会(2023年2月10日)参加。
 - * 関連団体 日本内科学会から「医師の働き方改革におけるC-2水準審査業務」(厚生労働省)に協力するにあたり、各サブスペシャリティ領域から審査員の推薦依頼があり、鈴木澤尚実先生を推薦した。

[特別委員会]

- アレルギー疾患対策基本法特別委員会(2023年4月27日)
アレルギー疾患対策基本法に則した施策の検討、2023年度の厚生労働省助成事業(アレルギー情報センター事業)内容の検討。
- 「上気道アレルギー委員会」「アレルゲン・免疫療法委員会」「アレルギー疾患対策基本法特別委員会」及び厚生労働省との合同会議(2023年4月27日)を開催し、「花粉症対策」について検討。

[その他委員会]

- 臨床アレルギー講習会ワーキンググループ
 - * 第6回臨床アレルギー講習会ワーキンググループ(2023年1月16日)
第6回臨床アレルギー講習会の開催概要、運営方法、プログラム、日程、受講料、会場の検討。
- 「アレルギー総合診療のための分子標的治療の手引き」作成ワーキンググループ
「アレルギー総合診療のための分子標的治療の手引き」PDF版(2022年9月26日)、冊子版(11月24日)を発行した。